

## 第三者評価結果入力シート（母子生活支援施設）

種別	母子生活支援施設
----	----------

### ①第三者評価機関名

社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会
--------------------

### ②評価調査者研修修了番号

SK18224
SK18248

### ③施設名等

名称：	和歌山すみれホーム
施設長氏名：	児玉 弘
定員：	40世帯
所在地(都道府県)：	和歌山県
所在地(市町村以下)：	和歌山市松江中1-4-2
T E L：	073-499-8650
U R L：	http://www.w-sumirehome.or.jp
<b>【施設の概要】</b>	
開設年月日	2016/4/1
経営法人・設置主体（法人名等）：	公益社団法人 和歌山県母子寡婦福祉連合会
職員数 常勤職員：	13名
職員数 非常勤職員：	4名
有資格職員の名称（ア）	社会福祉士
上記有資格職員の人数：	2名
有資格職員の名称（イ）	保育士
上記有資格職員の人数：	4名
有資格職員の名称（ウ）	臨床心理士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（エ）	
上記有資格職員の人数：	名
有資格職員の名称（オ）	
上記有資格職員の人数：	名
有資格職員の名称（カ）	
上記有資格職員の人数：	名
施設設備の概要（ア）居室数：	40室・40世帯 一般：32.281㎡ 多人数：36.673㎡
施設設備の概要（イ）設備等：	保育室、学習室2室（学習用・遊び用）、心理療法室、調理室
施設設備の概要（ウ）：	コインランドリー、セキュリティシステム完備、IH調理器、エアコン
施設設備の概要（エ）：	台所、風呂、トイレ、洗面台、洗濯パン、インターネット環境 等

### ④理念・基本方針

<p><b>【理念】</b> 母と子の主体性を尊重した自立への歩みを支えます。</p> <p><b>【基本方針】</b> 母と子の意向を尊重し、心身ともに健やかに育成・支援をします。 常に職員の研鑽と資質向上に励みます。 福祉サービスの提供を通じて、地域社会に貢献します。</p>
--

### ⑤施設の特徴的な取組

<p>○利用者ファーストのサービス 利用者の安心・安全を確保するため、不審者や感染症対策の充実とともに、同行支援をはじめ定例面談や生活場面对話などを通して利用者への積極的な働きかけがなされている。また、生活や行事の案内は、和文に加え英文でも発信し、利用者個人の状況に配慮したきめ細やかな支援が定着できている。</p>
--

### ⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2021/5/21	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2021/10/19	
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成30年度	

⑦総評

◇特に評価が高い点  
 閑静な集落の中に位置し、最寄りの鉄道駅からも徒歩圏内にあり、広い敷地に囲まれた建物周辺も整備が行き届いている。建物内も、共有部分と各居室ともに余裕を持った空間設計がなされ、緊急保護利用者はじめ入居者に安堵感を提供している。今回、第三者評価受診は前回に比して、経験豊富な職員を中心に長年培ってきた支援のノウハウを可視化し、インケアからアドミッションケア・アフターケアに至るまで利用者一人一人に寄り添う質の高い取り組みは高く評価できる。

◇改善が求められる点

○組織体制の強化

①母子の自立を支援する職員の育成及び業務の取り組み評価について、中長期計画に示されている「人事考課」の具体的な体制整備と施行が望まれる。

②施行している既存の規定やきまりとその改善の取り組みを可視化するためにも各規定やきまり等に「附則」を明記し、これまでの支援経過を整備するとともに、今後の更なる質の向上につなげる取り組みが求められる。

③職員業務文書は、日常支援業務中心に構成されている。更に、運営管理・財務はじめ、利用者の権利擁護にかかわる業務分野についても職員体制の明示が望まれる。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

第三者評価の受審結果の総評の分析が必要です。施設又はそれを経営している法人や設置主体の努力で改善できるものと予算対策や制度施策の改善を図られないとどうにもならないものもあります。

我々の仕事というものは、ますます質の高い支援をしていかなければならない必然性が出てきています。常に時代の変化やニーズを把握することが大切と感じました。そのために日々の業務や支援を振り返り見直していくこと。計画・評価・改善のPDCAサイクルが重要だと考えます。

母子生活支援施設を取り巻く課題や今後果たすべく役割について協議し、更に第三者評価受審を利用し、支援を活かして利用者支援の質の向上を図っていききたい。

多目的な視点で改善や問題点に気づくことが出来ました。改めて支援内容の再点検を行う機会となりました。

⑨第三者評価結果（別紙）

（別紙）

自己評価結果表【タイプA】（母子生活支援施設）

共通評価基準（45項目） I 支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者評価結果
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
□理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。	○
□理念は、法人、施設が実施する支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○
□基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○
□理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	○
□理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、母親と子どもへの周知が図られている。	○
□理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	○

【コメント】

理念や基本方針はじめ倫理綱領が策定され、会議や研修で職員に周知するとともに、玄関はじめ共用部分への掲示や外国籍の利用者のために英文での案内の工夫など、利用者が安心できる取り組みが行き届いている。

## 2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの数・母親と子ども像等、支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする母親と子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に支援のコスト分析や施設入所を必要とする母親と子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	
【コメント】		
「施設がデータを収集し利用者像や地域ニーズ課題の把握・分析が弱い」と自己評価されています。月別に入退所とその理由、および緊急保護に関する実績を統計化し、事業報告等にまとめることで施設内外の支援を必要とする母子の傾向や地域のニーズを把握する取り組みが望まれる。		
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b
	<input type="checkbox"/> 経営環境や支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	
【コメント】		
定例の役員会で議題として取り上げられ検討する取り組みがなされている。今後は、役員会で共有された課題やその改善の取り組みについて、年度当初の職員会議や事業計画に記すなど、職員への周知と共により質の高い事業の実施が望まれる。		

## 3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	
【コメント】		
中長期計画には「重点取り組み事業」を明示している。その事業の遂行のため、人材・財務・設備部門にわたる、より具体的な取り組みプランと施行予定時期の策定を期待する。		
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○

<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○
<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	

【コメント】

事業計画は、職員会議で検討された前年度の支援の成果・課題・改善点を踏まえて策定している。一方、暫定定員の解消や新人材の確保、職員の育成・人事考課等、管理運営に関する事業の事業計画への明示が望まれる。

(2) 事業計画が適切に策定されている。

① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	○
<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	○
<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	○
<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	○
<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	○

【コメント】

新型コロナウイルス禍のもと、施設行事や職員研修など制約されることが多い中でも、利用者の日常生活にうまいと健全な変化を提供するため、行事は「中止ありき」でなく、職員全員がアイデアを出し合い縮小や工夫をして実施している。また、外部機関との会議や研修には、オンライン環境を整え取り組んでいる。

② 7 事業計画は、母親と子どもに周知され、理解を促している。	a
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、母親と子どもに周知(配布、掲示、説明等)されている。	○
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や母親会等で説明している。	○
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、母親と子どもがより理解しやすいような工夫を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 事業計画については、母親と子どもの参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	○

【コメント】

新型コロナウイルス感染症対策や行事の案内はじめ生活環境の情報は、母親と子どもにわかりやすく工夫が施され、玄関はじめ共有部分への掲示や、母親会や子ども会で直接周知がなされている。

4 支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
① 8 支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく支援の質の向上に関する取組を実施している。	
<input type="checkbox"/> 支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	
<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○

【コメント】

例年の自己評価及びその集計の取扱いの仕組みが稼働している。今回、可視化された支援マニュアルを日々の支援現場で検証・改善し、より質の高い組織全体の継続支援の向上につなげる取り組みが期待される。

②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	

【コメント】

例年の自己評価及びその集計の取扱いの仕組みが稼働している。今回、可視化された支援マニュアルを日々の支援現場で検証・改善し、より質の高い組織全体の継続支援の向上につなげる取り組みが期待される。

## II 施設の運営管理

### 1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	第三者 評価結果	
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○

【コメント】

長年蓄積された母子支援のスキルを可視化したマニュアルが、より良い実効性を発揮できるように、施設長の見守りと助言指導を今後も期待する。

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

【コメント】

施設長は、施設の運営管理や利用者の支援全般にわたり、広く関係する規程やきまりを把握するとともにガバナンスに基づいた施設運営を行っている。また、近畿母子生活支援施設協議会の会長(事務局)として、全社協・全母協からも積極的に法令等の情報を把握し、他施設に発信されている。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○

【コメント】

施設長は、母子生活支援施設の使命と母子支援機能が職員に周知され、より一層その実効性を発揮し、入所者および今後利用を希望する関係機関や当事者に還元できるように、職員及び利用者への助言・指導が望まれる。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	

【コメント】

役員会で経営環境や支援の内容について情報交換され、把握した課題や改善点について協議している。その実効性を高め利用者支援の向上に帰するため、更なる組織体制の構築が求められる。

## 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	
	<input type="checkbox"/> 支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○

【コメント】

DVや虐待の被害者である利用者のニーズに質の高い対応ができるように、更なる福祉人材の確保や専門的支援が求められる職員の配置に積極的な取り組みが望まれる。

②	15 総合的な人事管理が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができている。	

<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	○
<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	
<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	

【コメント】

母子生活支援施設の使命・役割を果たすべく日ごろから現場で支援にあたる職員を、専門職として育成するとともに業務について客観的な評価基準を示すことにより、職員一人一人が自己の中長期職務の立ち位置が展望できる仕組みが求められる。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

① 16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	
<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	
<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	○

【コメント】

女性職員が大半を占める職場環境で、幼児を持つ職員、ひとり親など職員の家族事情等に配慮した就労環境が稼働している。こういった取り組みが、強いては利用者の就業意識のロールモデルにつながることを期待される。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

① 17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	○
<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	

【コメント】

母子生活支援施設の使命・役割を果たすべく日ごろから現場で支援にあたる職員を、専門職として育成するとともに業務について客観的な評価基準を示すことにより、職員一人一人が自己の中長期職務の立ち位置が展望できる仕組みが求められる。中長期計画に示される「人材の育成と確保『人事評価の導入により職員の能力、意欲の向上と具体的な目標設定、達成度の評価を行い、組織を活性化し、処遇に反映させていく』」の具体的な実施が求められる。

② 18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<input type="checkbox"/> 施設が目指す支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	
<input type="checkbox"/> 現在実施している支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○

<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	

【コメント】

新型コロナウイルス禍にあっても、施設外の研修会に職員の派遣やオンラインによる積極的な参加を促し、施設内では密にならないよう参加人数やニーズに合わせたテーマの選択など、工夫しながら積極的な職員研修の取り組みができています。一方、その成果をOJTやOFF-JTやSDSの活用など、施設機能のスキルアップにつながる更なる取り組みの強化が望まれる。

③ 19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	b
<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	
<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	
<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
(5種別共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	

【コメント】

職員は、例年一人2～3回の外部研修に参加している。  
職員一人一人の年度毎の研修の実績を、階層別・職種別・テーマ別に集約するなどの工夫をして、職員研修が、単年度で終結することなく、施設として「一人一人の継続した職員育成計画」と、職員は「対人援助者として求められているスキル」が把握できる仕組みが望まれる。

(4) 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

① 20 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	c
<input type="checkbox"/> 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	
<input type="checkbox"/> 実習生等の支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	
<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	
<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	
<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	

【コメント】

実習生の受け入れ実績はない。  
母子生活支援施設すみれホームの運営管理・自立支援の特性上「受け入れに該当しない施設」との事情があれば、その方針の可視化が望まれる。

### 3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果
① 21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	
<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	○



<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	
<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。	○
<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	

【コメント】

法人施設として、公的機関並びに地域や団体そして利用者に、日ごろからの取り組みを可視化し、利用にあたっての安心・安全、支援機能の情報を提供する更なるの取り組みが望まれる。

② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○
<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○
<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	○

【コメント】

経理規定に沿って会計責任者等を任命し、会計責任者を中心に日ごろの出納業務を職員全員で行っている。また、財務面では法人内の監査会議と、外部会計事務所から定期的に助言・指導を受けて適正な運営がなされている。

#### 4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果
① 23 母親、子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	
<input type="checkbox"/> 施設や母親と子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	○
<input type="checkbox"/> 母親と子どもが買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の母親と子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○
(母子生活支援施設)	
<input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	○

【コメント】

地域活動については、関連文書が事業計画はじめ利用者へ随時発信されているが、その書面は各分野に散在している。活動要項を適格にとらえてある一つ一つの文書を、今後は、「地域との交流」という視点から系統的に編纂するとともに、職員・利用者、地域に還元する取り組みが望まれる。

② 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	
<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	○
<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	
<input type="checkbox"/> ボランティアに対して母親と子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	

【コメント】

ボランティアの受け入れは行われていない。一方、職員外に教員OBを「学習指導員」として受け入れている。今後、利用者の生活によき変化を提供する一助として、利用者の事情を十分に配慮したうえでの有識者の導入が期待される。なお、教育機関に対しては、教員への施設情報の提供や児童の健全育成に担当職員を配置し、保育所・学校との協同活動が行われている。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の母親と子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、母親と子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	○

【コメント】

玄関に、ファミリーサポートセンター・性暴力救援機関・警察・医療機関・ハザードマップ・労働相談機関等の連絡先一覧を掲示するとともに、利用者の抱えている課題には職員は個別対応している。緊急保護から入所・母親の自立活動・子どもの就学関係など、日々変化する利用者のニーズについて関係機関と随時連絡を取り、利用者の利益を損なわないきめ細やかな寄り添いの支援が行われている。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	

【コメント】

地元自治会への参加を通して地域の実情やニーズを把握する機会はあるが、新型コロナウイルス禍の中で会合等は中止になることが多く、取り組みは縮小化にある。しかし、制限のある中でも、利用者の子弟が通う保育所や小・中学校でのPTA活動はじめ地域の保護者と交流できる機会を活用するなど更なる工夫が望まれる。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	○

【コメント】

地元自治会への参加を通して地域の実情やニーズを把握する機会はあるが、新型コロナウイルス禍の中で会合等は中止になることが多く、取り組みは縮小化にある。しかし、制限のある中でも、利用者の子弟が通う保育所や小・中学校でのPTA活動はじめ地域の保護者と交流できる機会を活用するなど更なる工夫が望まれる。

### Ⅲ 適切な支援の実施

#### 1 母親と子ども本位の支援

(1) 母親と子どもを尊重する姿勢が明示されている。

第三者  
評価結果

①	28 母親と子どもを尊重した支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、母親と子どもを尊重した支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○

<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

経験豊富な職員を中心に、支援の具体的なマニュアルを権利擁護や倫理綱領に基に可視化し、全職員で周知・共有するとともに、支援現場に反映する取り組みがなされている。また、職員一人一人が日ごろ現場で把握する課題を持ち寄り、問題点や改善策を検討するなど積極的な取り組みが見受けられる。

②	29 母親と子どものプライバシー保護に配慮した支援が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの母親と子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、母親と子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもにプライバシー保護に関する取組を周知している。	<input type="radio"/>

【コメント】

プライバシーに関しては、個人情報保護の観点から、職員の日ごろの生活援助上の約束（入室など）、各家庭の郵便ポストや居室外に設置されてある戸別の倉庫の施錠に至るまで、細部にわたって文書化して、職員と利用者・利用者間で共有のもとしっかりと取り組んでいる。

(2) 支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 母親と子どもに対して支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の母親と子どもについては、個別に丁寧な説明を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもに対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	<input type="radio"/>

【コメント】

利用者が施設活用を自己決定する際に、詳細な情報を提供できるように、日常生活にわたる生活状況を和文だけでなく英文書面を準備したり、見学時には利用者の不安や心情に寄り添った配慮ある援助対応がなされている。

②	31 支援の開始・過程において母親と子どもにわかりやすく説明している。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが自らの課題を可能な限り認識し、施設が行う支援について母親と子どもができるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 支援の開始・過程における支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 支援の開始・過程においては、母親と子どもの同意を得たうえでその内容を書面で残している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な母親と子どもへの配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	<input type="radio"/>

【コメント】

利用者が施設活用を自己決定する際に、詳細な情報を提供できるように、日常生活にわたる生活状況を和文だけでなく英文書面を準備したり、見学時には利用者の不安や心情に寄り添った配慮ある援助対応がなされている。

③	32 支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として母親と子どもが相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、母親と子どもに対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	○

【コメント】

他の施設や地域・家庭への移行に関するマニュアルを作成し、利用者にリービングケアからアフターケアに至る時系列に沿った手厚い支援が実施されている。

(3) 母親と子どもの満足の向上に努めている。

第三者  
評価結果

①	33 母親と子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもへの個別の相談面接や聴取等が、母親と子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員等が、母親と子どもの満足を把握する目的で、母親と子ども会等に出席している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、母親と子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	

【コメント】

施設は利用者との定例面談日を設け一人一人との個別支援に積極的に取り組んでいる。また、職員は母親会・子ども会に参加するとともに、子どもを対象にしたアンケートを実施し彼らの心身の健康ならびにニーズの把握に努めている。

(4) 母親と子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を母親と子どもに配布し説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、母親と子どもが苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、母親と子どもに必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た母親と子どものプライバシーに配慮したうえで、公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【コメント】

戸別に並ぶ郵便ポストの一つを「意見箱」に設定し、利用者が他人の目を気にすることなく要望や意見を投函できるように工夫している。利用者が申し出た意見の扱いについては、その対応の流れを玄関に掲示するとともに、苦情申出者のプライバシーに配慮した対応のしくみが稼働している。

②	35 母親と子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、母親と子どもに周知している。	b
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもに、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【コメント】

利用者の意見表明に関するしくみは整っている。一方、「第三者委員」など施設職員以外の者も相談者として選択できること、その場合の意見の取り扱い方手順についても利用者に情報提供する取り組みが望まれる。また、利用者が第三者委員を「相談できる相手」と身近に認識できるため、利用者と第三者委員との交流機会を設けることが求められる。

③	36 母親と子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の支援の実施において、母親と子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、母親と子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	

【コメント】

和歌山すみれホーム苦情解決委員会規約に基づいて、利用者のニーズの把握を積極的に行い、意見箱に投函された意見の対応については、当事者のプライバシーに最善の配慮をしつつも職員と利用者が共有し、今後の支援に反映する更なる取り組みが期待される。

(5) 安心・安全な支援の実施のための組織的な取組が行われている。 第三者  
評価結果

①	37 安心・安全な支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に見直しを行っている。	

【コメント】

職員と利用者の安全を確保するため、日ごろから不審者や感染症・虐待対応等の危機管理とともに、大きな事故につながる予防手立てとして、ヒヤリハット事案の収集・分析・危険回避の取り組みが望まれる。

②	38 感染症の予防や発生時における母親と子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直ししている。	○

<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	
<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	○

【コメント】

感染症、特に新型コロナウイルス対応は全職員が情報を共有し、その予防とともに濃厚接触者・陽性者に対応できる準備がなされている。今後、終息には時間がかかることが予想されるので、行政はじめ関係機関との渉外窓口になる担当者の明確化し、職員と利用者全員の健康と福祉を守る更なる取り組みの強化が望まれる。

③ 39 災害時における母親と子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 母親と子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	○
<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○

【コメント】

地震、火災、津波等災害ごとに避難訓練マニュアルを定め、職員・利用者の安全に配慮した取り組みが行われている。また、備蓄食品とともにガス・水道のライフラインを確保するため、自水道設備や利用者に貸し出せるカセットコンロを常備するなど、しっかりと命を守る取り組みがなされている。施設は高い位置にあり津波や水害時には近隣住民を受け入れる体制を作っている。

## 2 支援の質の確保

(1) 支援の標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果
① 40 支援について標準的な実施方法が文書化され支援が実施されている。	a
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	○
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、母親と子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	○
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	○
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	○

【コメント】

アドミッションケアからインケア、リービングケア・アフターケアと、利用者の安心・安全と自立に寄り添った支援マニュアルが策定され、職員の理解・研鑽のもと適切な支援が実施されている。

② 41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
<input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	○
<input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に実施されている。	○
<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	○
<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や母親と子どもからの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	○

【コメント】

職員会議や利用者との面談等を通して、変動する母親や子どもの状況に適時対応できる体制が確立されている。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、母親と子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な支援の内容等が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、母親と子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な支援が行われている。	○

【コメント】

母親と子どもの心身の状況や、抱える課題をアセスメントシートに落とし込み、個々人の自立支援計画が策定されている。今後、利用者の多様化する課題への支援の強化への取り組みとして、生活・就労・育児・経済・家族・法的支援・医療援助や学習・就学・友人関係など、多岐にわたる課題とその取り組みを利用者と細分化・明確化・共有化した、より質の高い自立支援に高める取り組みに期待される。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、母親と子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【コメント】

自立支援計画の評価・見直しにあたっては、前42の趣旨を取り入れ、今後さらに「利用者が希望のある将来が展望できる」具体的かつ実効性のある支援の取り組みが期待される。

(3) 支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 母親と子どもに関する支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【コメント】

電子媒体による日々の支援の記録は整えられている。今後、施設から発信する公文書として、より一層、職員が記録上扱う語句の精査と用法の標準化の取り組みが期待される。

②	45 母親と子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、母親と子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	○
【コメント】 個人情報保護規程に基づき、利用者一人一人の記録は職員により管理・保存されている。一方、公文書の位置づけ上、記録管理の責任者を配置するとともに、電子媒体記録の権限移譲・決裁（確定）手続きの仕組みの組織化が望まれる。		

内容評価基準（27項目）

A-1 母親と子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 母親と子どもの権利擁護	第三者 評価結果	
① A1 母親と子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	○
【コメント】 職員は、ケース会議で権利擁護について話し合うとともに、外部研修を行ない知識を深め必要に応じて検討会議を実施している。気になる母や子どもとはコミュニケーションを図り、関係性の改善に努め権利侵害が起こらない無いうに配慮がなされている。		
(2) 権利侵害への対応		
① A2 いかなる場合においても、職員等による暴力や脅かし、人格的辱め、心理的虐待、セクシャルハラスメントなどの不適切なかかわりが起こらないよう権利侵害を防止している。	c	
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合を想定し、施設長が職員と利用者の双方に事実確認や原因の分析等を行うことや「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがとられている。	
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの起こりやすい状況や場面について、具体的な例を示しながら、研修や話し合いを行い、職員による不適切なかかわりを行わないための支援技術を習得させている。	
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの禁止を職員等に徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことを確認している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員からの暴力や言葉による脅かしなどの、不適切なかかわりが発生した場合に対応するためのマニュアル等を整備し、規程に基づいて厳正に対応している。	
<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりや暴力を見たり聞いたりしたら、管理者等に報告することを義務付けている。	○	
【コメント】		



職員等による不適切な関わりがあった場合に、会議等で取り上げたり管理者に報告する仕組みはあるが、それをマニュアルや厳正に処分する仕組みへと明文化されていないため、今後に期待する。

②	A3 いかなる場合においても、母親や子どもが、暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切な行為を行わないよう徹底している。	a
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止について、具体的な例を示して、母親と子どもに周知している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為に迅速に対応できるように、母親と子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止を徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことの確認や職員体制の点検と改善を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為を伴わない人とのかかわりについて、母親や子どもに伝え、良好な人間関係の構築を図っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

子ども同士の不適切な行為は見つけたらその都度止めている。アセスメントシートでそれぞれの性格や好みを聞き、母親の家事支援を行うことで負担を軽減させ、不適切な行為に繋がらないように支援している。

③	A4 子どもに対する暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりに迅速に対応できるように、子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識・具体的方法について学習する機会を設けている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりを伴わない子育てについて母親に伝え、良好な親子関係の構築を図っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 常に親子関係の把握に努め、適切な助言や支援を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

子どもには、職員や警備員へのSOSの出し方やインターホンの使い方を教えている。母と子どもの不適切な行為を見つけた場合にはお互いにクールダウンさせる為、個別に話を聞き助言を行うとともに内容によっては臨床心理士や関係機関に相談し対応にあたっている。

(3) 思想や信教の自由の保障

①	A5 母親と子どもの思想や信教の自由を保障している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設において宗教的活動等を強要していない。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 個人的な宗教活動等は尊重している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの思想や信教の自由については、最大限に配慮し保障している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 母親の思想や信教によって、その子どもの権利が損なわれないよう配慮している。	<input type="radio"/>

【コメント】

思想や信教の自由については、母親に渡す資料にも明文化し伝えている。宗教の習慣により、食べられない食材がある利用者には、支援のお弁当を配る時にその食材が入らないようにするなど配慮に努めている。

(4) 母親と子どもの意向や主体性の配慮

①	A6 母親や子どもが、自分たちの生活全般について自主的に考える活動（施設内の自治活動等）を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 子ども自身が自分たちの生活全般について、自主的・主体的な取組ができるような活動（施設内の自治会活動等）を母親の理解のもとで実施している。	<input type="radio"/>

<input type="checkbox"/> 子どもが問題や課題について主体的に検討し、その上で取組、実行、評価するといった内容を含んだ活動を母親の理解と協力のもと実施している。	
<input type="checkbox"/> 活動を通して、子どもの自己表現力、自律性、責任感などが育つよう必要な支援をしている。	○
<input type="checkbox"/> 母親が自らの権利を学び、自主的に自分の生活を改善していく力を養えるよう支援している。	○
<input type="checkbox"/> 母親の自治会活動等を通して、母親の自己表現力、自律性、責任感などに対する支援を行っている。	

【コメント】

コロナ禍になる前は子ども会や母親集会でリーダー、副リーダーを決めてそれぞれ活動していたが、現在はコロナ禍のために自主的な活動は自粛している。子どもにはに工作や陶芸教室等を行い自己表現力を養っている。また、母親には「すみれ楽市」等の行事でアンケートを行い希望に添った支援をしている。

(5) 主体性を尊重した日常生活

① A7 日常生活への支援は、母親や子どもの主体性を尊重して行っている。	a
<input type="checkbox"/> 母親や子どもの自尊心や強みを大切に支援を行い、自己肯定感が回復し高まるような支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 母親と子どもに対してストレングスの視点に基づいて、エンパワメントしていく支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 常に母親と子どもの主体性を尊重した支援を通して、その人が力を発揮できるよう支援を行っている。	○

【コメント】

職員は、常時母親や子どもの主体性を大切にして悩みを傾聴し、自己肯定感が高まるよう「間違っていない」と声をかけ、その人の良いところを認め助言し根気よく支援している。

② A8 行事などのプログラムは、母親や子どもが参画しやすいように工夫し、計画・実施している。	a
<input type="checkbox"/> 母親や子どもが施設での生活を楽しめるような企画を用意している。	○
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの主体的な参画を前提とした行事・プログラムを用意している。	○
<input type="checkbox"/> 母親向けのプログラムでは、母親が安心して参加し楽しめるように、保育などのサポートを行っている。	○
<input type="checkbox"/> 母親や子どもの状況を考慮し、参加しやすいように内容・時間等を工夫している。	○
<input type="checkbox"/> 行事等の実施後に、評価を行い次回の実施につなげている。	○

【コメント】

母親と子どもの意見を聞いて行事を計画し、その後評価を行い次回に繋げている。母親が参加しやすいよう保育のサポートを行っている。行事の曜日や時間帯は母親の意見を聞いて決めており、外国人の母親には英語の表記をして参加してもらいやすいように工夫している。

(6) 支援の継続性とアフターケア

① A9 母親と子どもが安定した生活を送ることができるよう、退所後の支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 退所後の支援が効果的に行われるよう、退所後の支援計画を作成している。	○
<input type="checkbox"/> 退所した地域で安定して暮らすために、必要に応じて退所先の行政機関をはじめ、多様な地域の関係機関や団体とネットワークを形成し、母親と子どもが適切な支援が受けられるようにしている。	○
<input type="checkbox"/> 退所後も電話や来所によって施設に相談できることを母親と子どもに説明し、生活や子育て等の相談や施設機能を活用した(学童保育・学習支援・施設行事への招待等)支援を提供している。	○
<input type="checkbox"/> 退所後の生活が安定していることを確認するための往訪や架電等の取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 必要に応じて退所先に往訪し、介助や同行・代行等の支援を行っている。	○

【コメント】

退所後の生活がスムーズに行えるようマニュアルを整備し、退所後の母親の気持ちを考慮した自立支援計画を作成している。往訪や架電、来所相談や同行支援を行うとともに、退所後に遊びにくる児童もいるなど良好な関係づくりが成されている。

## A-2 支援の質の確保

(1) 支援の基本		第三者 評価結果
①	A10 母親と子どもそれぞれの個別の課題に対応して、専門的支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもがそれぞれ抱える個別の課題に対して、目的や目標を明確にし計画的で一貫した専門的支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの課題を正しく理解し、親子・家庭のあり方を重視した支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが、自己の意思で課題を解決できるように個々の気持ちに寄り添った支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 資料等を使いながら、必要な手続きをわかりやすく説明し、必要に応じて職員が機関等への同行及び代弁を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門的な支援を行うために、その支援に必要な資格や経験等を考慮した職員を配置し、職員間で連携・協議を行っている。	○

### 【コメント】

アセスメントを行い母と子どものニーズを捉えている。金銭管理が苦手な母親には管理しやすいよう書き出し、計画的に管理できるよう支援したり、働き始めた母親には、子どもの身支度を手伝うなどの生活支援、日本語が不慣れな外国人の子どもには、学校の授業中にも学習ボランティアを付けるなどの支援を図っている。

(2) 入所初期の支援		第三者 評価結果
①	A11 入所に当たり、母親と子どもそれぞれのアセスメントに基づき、生活課題・ニーズを把握し、生活や精神的な安定に向けた支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 入所直後は心理的に不安になりやすいため、信頼関係の構築に心がけ、心の安定に向けた相談支援に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが安心して施設を利用し、課題の解決に向かえるように、関係機関等と連携して情報提供に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが保育所・学校に速やかに入所・通学できるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、生活用具・家財道具等の貸し出しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 居室は、母親と子どもが生活するために必要な十分なスペースが確保され、プライバシーに配慮したものとなっている。	○
	<input type="checkbox"/> 身体に障害のある母親や子どもに対しても、安全に生活ができるように配慮している。	○

### 【コメント】

母親と子どもが新しい生活が始められるよう入所のマニュアル、学校への入学のマニュアル等が整備されており、必要な生活用品は貸出をしている。障害者用・多人数世帯用居室も用意されており、安心して生活できるように職員が常に言葉をかけて支援している。

(3) 母親への日常生活支援		第三者 評価結果
①	A12 母親が、安定した家庭生活を営むために必要な支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 生活経験に乏しい母親には、職員と共に行うことで経験を補う等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 心やからだの健康に不安を持つ母親には、相談に応じたり、医療機関への受診を促したりするとともに、栄養管理等の食生活への支援を行うなど、ニーズに応じた健康管理のための支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、衣服の清潔保持や入浴など、気持ちよく暮らすために必要な衛生面への支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 経済的に安定した生活を送るために、必要に応じて家計の管理、将来に向けた貯蓄等の相談や支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 支援の必要性やニーズに応じて、家事・育児等、日常生活全般について、代行や介助等の支援を行っている。	○

### 【コメント】

母親が安定した生活が営めるように必要に応じて金銭管理、家事全般を支援し、病気や不調を訴える母親には受診を勧めてその子どもと共に支援している。

②	A13 母親の子育てのニーズに対応するとともに、子どもとの適切なかわりができるよう支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 母親の育児に関する不安や悩み等の発見に努め、その軽減に向けた相談や助言、介助等を行うとともに、必要に応じて保育の提供や保育所へつなぐ等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親の状況に応じ、子どもの保育所・学校等への送迎の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親が子どもを客観的に理解できるように、発達段階や発達課題について示し、適切な子育てやかかわりについてわかりやすく説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 虐待や不適切なかかわりを発見した時は職員が介入し、必要に応じて専門機関との連携を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、子どもが通う保育所や学校と連携している。	○

【コメント】

小さな子どもがいる母親には保育所が決まるまで保育を行い、妊婦でも安心して子育てができるようマニュアルも整備されている。母親と子どもの不適切な関わりを発見した場合には、必要に応じて専門機関に相談するなどの対応を行い支援している。

③	A14 母親が安定した対人関係を築くための支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親が職員とつながっていることを実感できるよう、様々な場面で気軽に声をかけたり、相談に応じるなどの取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を自分の居場所として感じられるように、母親どうしが集うための機会や場を設け、交流を促すなどなど、関係づくりのための支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 対人関係がうまくできない母親には、母親のペースに合わせた関係性の構築に配慮を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 社会との関係をとることの難しさから対人関係にストレスを生じている場合は、そのストレスの軽減が図られるよう、心理療法を行ったり相談に応じたりしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設内の他の母親や子どもとの間でトラブルが生じたときに、その関係性を修復もしくは改善するための支援を行っている。	○

【コメント】

コロナ禍のため自粛している状況だが、以前は母親集会を2ヵ月に1回行い、母親どうしが集う機会の場を設けていた。また、母親どうし・母親と子どもとのトラブルが起こった場合は、その関係性が改善するように昼夜を問わず支援を行っている。

(4) 子どもへの支援

①	A15 健やかな子どもの育ちを保障するために、養育・保育に関する支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの成長段階、発達段階に応じた養育支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 放課後の子ども生活の安定や活動を保障し、活動場所、プログラム等を用意するとともに、日常生活に必要な知識や技術の伝達、遊びや行事等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> DVを目撃した子どもを含め、被虐待児等や発達障害を含む様々な障害等の特別な配慮が必要な子どもに対しては、必要に応じて個別に対応し、子どもの状況に応じた支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親のニーズや状況に応じて、施設内の保育支援や保育所への送迎、通院の付き添いなどの支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設内における養育・保育に関する記録を整備し、支援に役立てている。	○

【コメント】

子どもが困ったことを解決したり、目標に向かって頑張っていくためにアセスメントを行い、計画を立てて年に2回見直しをしている。特別な配慮が必要な子どもに対しては、臨床心理士から治療やアドバイスをいただきながら支援している。施設では、学習指導員による工作教室を月に1回開催し、子ども達は自分の好きなものを工作することができる。

②	A16 子どもが自立に必要な力を身につけるために、学習や進路、悩み等への相談支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 落ち着いて学習に取り組める環境を整え、年齢に応じた適切な学習支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 学習の習慣を身につけるとともに、学習への動機づけを図っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 進学や就職への支援について、母親と子ども双方の意向をくみ取り、学校と連携して情報提供を行いながら、具体的な目標を定めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 学費の負担軽減のため、各種の奨学金や授業料の減免制度等の活用への支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 学習指導のために学習ボランティア等の協力を得ている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども一人一人の個別性を重視した相談・支援を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

小学生には教員退職者の有料ボランティアによるすみれ塾を週2回実施し、中学生には塾の支援も行っている。進学を希望する子どもには奨学金の手続きを行うとともに学校との連携も図っている。

③	A17 子どもに安らぎと心地よさを与えられるおとなのかかわりや、子どもどうしのつきあいに配慮して、人との関係づくりについて支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 母親以外のおとなにも受け入れられたり、甘えられたりする経験を増やし、おとなとの信頼関係が構築できるよう支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> ボランティアや実習生など、様々なおとなとの出会いの機会を設け、多様な価値観、生き方への理解をすすめている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 悪意や暴力のないおとなモデルを提供することで、おとなに信頼感を持てるよう支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自分の気持ちをことばで適切に表現し相手に伝えることについて、日常生活の中でその方法を意識的に伝え、その能力が向上するよう支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 専門的なプログラムに基づいたグループワークを積極的に取り入れている。	<input type="radio"/>

【コメント】

小さい子どもには抱っこをしたり、小学生には、職員が母親の家事支援をしながら、一緒に過ごすことで安らいでもらい、警備員や学習指導員と触れ合うことで多様な価値観を持ってもらっている。コロナ禍以前は、グループワークも取り入れていた。職員は、子ども達に対し、自分の気持ちを相手に伝える手段として具体的にこういう言い方をすると良いと伝えている。

④	A18 子どもの年齢・発達段階に応じて、性についての正しい知識を得る機会を設け、思いやりの心を育む支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に正確な知識を持って応えている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員間で性教育に関する知識や、性についてのあり方などの学習会を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 年齢、発達段階に応じて、性についての正しい知識、関心が持てるよう支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 年齢に応じた性教育の計画があり、正しい性知識を得る機会を設けている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性教育のあり方について学習会などを職員や子どもに対して実施している。	<input type="radio"/>

【コメント】

コロナ禍以前には、外部講師を招き学年別に学習する機会を設けていた。今年度は、コロナ禍の影響に伴い、職員が研修したものをパワーポイントを使用して子どもたちに伝える予定である。

(5) DV被害からの回避・回復

①	A19 母親と子どもの緊急利用に適切に対応する体制を整備している。	a
	<input type="checkbox"/> 緊急時に備えて、夜間でも対応できる体制を構築している。	<input type="radio"/>

<input type="checkbox"/> 24時間の受け入れや広域利用など、広く母親と子どもの緊急利用を受け入れている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 役割分担と責任の所在を明確にし、配偶者暴力相談支援センター・警察署・福祉事務所等との連絡調整体制を整えている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 緊急時対応マニュアルを作成・整備している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 緊急利用のための生活用品等を予め用意している。	<input type="radio"/>

【コメント】

「DV一時保護委託入所」や契約自治体より「緊急一時保護」等を受け入れている。マニュアルも整備し、待機職員がその日にすぐに入居できるように対応している。入居時には、安全のために携帯電話を預かり、車のナンバープレートも必要に応じて隠すなど母子の安全を最優先とする対応をしている。

② A20 母親と子どもの安全確保のために、DV防止法に基づく保護命令や支援措置が必要な場合は、適切な情報提供と支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 保護命令制度や支援措置・DV相談証明の活用について、情報提供を行うとともに、必要に応じて法的手続きのための同行等の支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 弁護士や法テラスの紹介や調停・裁判などへの同行等、さらに必要に応じて代弁等の支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> DV加害者に居所が知れ、危険が及ぶ可能性がある場合には、母親と子どもの意向を確認した上で、速やかに関係機関と連携し、保護命令の手続きや他の施設への転居等の支援を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

職員は、法的な手続きの為に県外に同行したり、母親が朝早くに出かけるときには子どもを預かるなどの支援を行っている。措置の変更手続きや、加害者に居場所が知られないよう工夫するなど関係機関と連携を図り、常に母子の安全を最優先に考え、必要に応じて他の施設への転居も支援している。

③ A21 心理的ケア等を実施し、DVの影響からの回復を支援している。	a
<input type="checkbox"/> DVについての正しい情報と知識を提供し、DV被害者の理解を促し、自己肯定感を回復するための支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> DVから脱出することができたことを評価し、安心して安定した生活と幸せな未来について、職員と一緒に考え支援することを伝えている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 心理療法を活用し、医師やカウンセラーと情報交換を行いながら、より適切な支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 必要に応じて、自助グループや外部の支援団体等の紹介を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

フラッシュバックに困る母親の気持ちに寄り添い落ち着いて生活できるよう、職員は研修を受講し支援に努めている。必要に応じて、母親が臨床心理士のカウンセリングを受けられる体制が整えられている。依存症の傾向がある母親には、自助グループへの参加を勧め回復傾向に向かわせている。

(6) 子どもの虐待状況への対応

① A22 被虐待児に対しては虐待に関する専門性を持ってかわり、虐待体験からの回復を支援している。	a
<input type="checkbox"/> 暴力によらないコミュニケーションを用いるおとなのモデルを職員が示している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 子どもと個別に関わる機会を作り、職員に自分の思いや気持ちを話せる時間を作っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であることを伝えることや、感情表現を大切にすることで、自己肯定感や自尊心の形成に向けた支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 医療機関や児童相談所などの関係機関と必要な情報の交換を行いながら、より適切な支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 心理療法担当職員によるカウンセリング等の専門的ケアを実施している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 被虐待児に対する支援の専門性を高めるための職員研修等を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設では、DVと虐待に関する外部研修をズームにより受講し、他の職員にも伝達することで常に資質向上を図っている。個別対応職員を配置し子どもの話を聞き自己肯定感の回復を促すとともに、被虐待児に対してのカウンセリング担当職員も配置し支援を行っている。

②	A23 子どもの権利擁護を図るために、関係機関との連携を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 児童虐待の発生やその疑いがある場合は児童相談所に通報し、連携して対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 被虐待児童に対しては、必要に応じて、心理判定や児童精神科医との相談などの児童相談所機能を活用している。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、福祉事務所や保育所・学校・病院等と情報交換や連携を図り対応している。	○

【コメント】

児童虐待がみられる場合には身元の安全を確保し、必要に応じて子どもの緊急一時保護も行っている。職員は何かあれば関係機関と連携をして情報共有している。保育士の職員が保育所を訪問して、日頃から連携しやすいよう努めている。

(7) 家族関係への支援

①	A24 母親や子どもの家族関係の悩みや不安に対する相談・支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親の家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	○
	<input type="checkbox"/> 家族の中に感情の行き違いや意見の相違がある場合、適切に介入し調整を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、他の親族との関係調整を行っている。	○

【コメント】

悩みや不安がある時には母と子どもそれぞれ話を聞き、良い方の意見を支援している。感情の行き違いや意見の相違がある場合には、職員が間に入って調整を行っている。

(8) 特別な配慮が必要な母親、子どもへの支援

①	A25 障害や精神疾患、その他の配慮が必要な母親と子どもに対する支援を適切に行い、必要に応じて関係機関と連携している。	a
	<input type="checkbox"/> 社会資源の積極的な活用するための支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 公的機関や就労先、保育所や学校等と連携した支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 精神疾患があり、心身状況に特別な配慮が必要な場合、同意を得て主治医との連携のもと、通院同行、服薬管理等の療養に関する支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 障害や精神疾患がある場合や外国人の母親や子どもへは、必要に応じて公的機関、就労先への各種手続きの支援を行ったり、保育所、学校等、他機関と連携し情報やコミュニケーション確保の支援を行っている。	○

【コメント】

精神疾患がある母親には、主治医と連携を図り落ち着いて生活できるよう支援を行っている。日本語が不慣れな外国人の母親には、一緒になって書類作成を手伝ったり、保育園の申し込みを英語で行うなど、職員が各種申し込みの支援を行っている。

(9) 就労支援

①	A26 母親の職業能力開発や就労支援を適切に行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親の心身の状況や能力・適性・経験・希望に配慮した支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 資格取得や能力開発のための情報提供や支援を行っている。	○

<input type="checkbox"/> 公共職業安定所以外にも、バー下ハンクや母子家庭等就業・自立支援センター等、様々な機関との連携や調整、必要に応じて、同行や職場開拓等の支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 母親が安心して就労できるように補完保育(残業や休日出勤時の保育等)、病後児保育、学童保育などを行っている。	○

【コメント】

母親が安心して就労できるよう補完保育を行っている。県の委託に伴って就業自立支援センターの職員を配置し支援をしている。職員の献身的な支援により、自動車免許を取ったり保育士資格を取っている母親もいる。

②	A27 就労継続が困難な母親への支援を行い、必要に応じて職場等との関係調整を行っている。	a
---	--	---

<input type="checkbox"/> 職場環境、人間関係に関する相談や助言など、個々に対応した幅広い支援を行っている。	○
---	---

<input type="checkbox"/> 母親が望む場合、就労継続のために職場との関係調整を行っている。	○
--	---

<input type="checkbox"/> 障害がある場合や外国人の母親の場合、その心身等の状態や意向に配慮しながら、就労の継続に向けての支援を行っている。	○
---	---

<input type="checkbox"/> 就労継続が困難な母親を積極的に受け入れている。	○
--	---

<input type="checkbox"/> 必要に応じて福祉的就労の活用を図っている。	○
--	---

【コメント】

出来る限り生活保護に頼らないことを念頭に置き、障害がある母親に対しては必要に応じてB型作業所等への支援も行っている。すぐに仕事を辞めてしまう母親については、励ましながら関係機関と調整して就労できるよう親身になって支援している。